

【瀬戸内市教育委員会】
校務DX計画

瀬戸内市では、GIGAスクール構想に基づき、令和3年度からICT環境の整備を進めてきました。しかしながら、教育現場では業務の複雑化や負担増加といった課題が依然として存在しており、効率的な校務運営が求められています。

これらの課題を解決するため、本市では教職員の働き方改革の一環として、校務のデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進し、業務の効率化や負担軽減に向けた具体的な取組として、以下の4項目を定めます。

(1) 校務の効率化

- ・ 校務系システムと学習系システムの配置に関し、令和8年度中に、ネットワーク分離を必要としない、アクセス制限を前提としたネットワーク構成にすることで、校務の効率化・利便性向上を目指します。
- ・ 令和8年度中のクラウド型校務支援システム導入の検討を進めます。また、学習ダッシュボードの活用を進めることで、データ連携による業務効率化を目指します。なお、新入学児童生徒の名簿情報については、電子ファイルで学校に送付しているため、校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業は一掃されています。
- ・ 教職員間の情報共有、連絡、事務手続きをクラウドサービスで統合し、ペーパーレス化や業務効率化を図ります。
- ・ ネットワーク統合を前提としたパブリッククラウド活用における適切なセキュリティ対策を踏まえたセキュリティポリシーに改訂するとともに、それを教職員に周知徹底するための研修を実施することで、情報漏洩のリスクを最小限に抑えます。

(2) クラウドサービスを活用した保護者との情報共有強化

- ・ クラウドサービスを用いた配布物等の一斉配信や、アンケート、調査、欠席連絡等の実施によりペーパーレス化を進めることで、保護者の負担軽減と情報共有の効率化を図ります。

(3) 校務DX推進体制の構築

- ・ 市教委主催のICT活用研修会を実施することで、デジタル教材や学習支援ツールの積極的活用に向けたスキル向上を支援するとともに、紙ベース教材の利用減少につなげます。
- ・ 継続したICT支援員の配置により、教職員のICT活用能力向上と、積極的な授業への活用を促進します。また、GIGAスクールサポーターの配置により、トラブルや故障等に迅速に対応します。

(4) FAX・押印の原則廃止

- ・ 市長部局や外部事業者との連携を強化し、FAXや押印に頼らないペーパーレスな業務体制を構築していきます。